

自閉症研究の今 ～社会の課題に挑戦する～

日時 2017年10月15日 (日)
9:30-17:00 (9:00-受付開始)

参加費 10,000円
(第5回成人発達障害支援研究会及び懇親会費含む。
事前申込制度あり。詳細はホームページをご覧ください)

大会組織 大会委員長：神尾 陽子
(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)
大会副委員長：Susan Shur-Fen Gau
(National Taiwan University)
事務局代表：加藤 進昌
(昭和大学発達障害医療研究所)

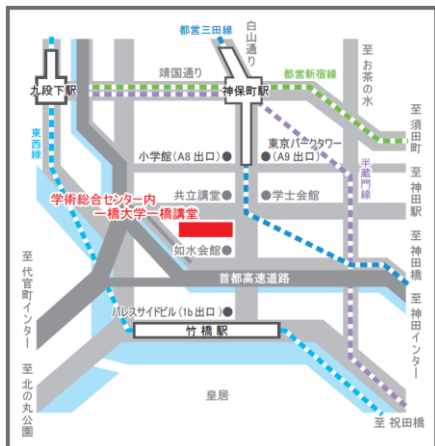
主催 昭和大学発達障害医療研究所 (MIDDR)
国立精神・神経医療研究センター (NCNP)

助成 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)

後援 日本自閉症協会、東京都自閉症協会

会場 **一橋大学一橋講堂**
(学術総合センター2階)
〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋2-1-2

- 東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線「神保町駅」(A8・A9出口) 徒歩4分
- 東京メトロ東西線「竹橋駅」(1b出口) 徒歩4分



プログラム予定

招待講演

Andy Shih
(AUTISM SPEAKS)

David Amaral
(Medical Institute of Neurodevelopmental Disorders)

Christopher Gillberg
(University of Gothenberg / 高知ギルバーク発達神経精神医学センター)

Susan Shur-Fen Gau
(National Taiwan University)

Yeni Kim
(National Center for Mental Health)

口頭発表 (若干名)

ポスター発表 (70~80題)

懇親会

日時：10月14日 (土) 18:00-20:00

会場：如水会館 (一橋講堂に隣接しています)

※第5回成人発達障害支援研究会終了後、懇親会を開催します。

お問い合わせ先

事務局：昭和大学発達障害医療研究所

〒157-8577 東京都世田谷区北烏山6-11-11

E-mail: middr@med.showa-u.ac.jp

ポスター発表 演題募集

自閉症、発達障害に関する幅広い分野からのポスター演題を募集します。

応募の際は、採否及び分類のため、内容を300字程度で記述した簡単な抄録をご提出ください。詳細については、昭和大学発達障害医療研究所のホームページをご確認ください。

研究所ホームページ

http://www.showa-u.ac.jp/rsch_acad/midd/index.html

申込み期限：8月31日 (木)



Andy Shih

AUTISM SPEAKS副会長（研究部門長）。AUTISM SPEAKSは自閉症の理解と支援を目指す自助団体のトップに位置する。創設者はボブ・ライト（元NBC会長）とその妻スザンヌ（故人）。世界自閉症啓発デーなどを主導するとともに、研究支援もしている。



David Amaral

カリフォルニア大学デービス校教授、カリフォルニア州サクラメントにある自閉症の臨床と研究が一体となったM.I.N.D.研究所の研究所長。国際自閉症学会（INSAR）の創設メンバー、機関誌Autism Research編集長。長くサンディエゴのソーク研究所で研究に従事し、現在はNIMHのアドバイザーメンバー。



Christopher Gillberg

スウェーデン・ヨーテボリ大学児童青年精神医学科教授。INSAR Lifetime Achievement Award受賞者。JECS（Japan Environment and Children Study「エコチル」）の共同研究者。自閉症、アスペルガー症候群、ADHD、LD、トゥレット症候群、摂食障害のほか、児童・青年期の精神医学、神経発達の領域に関連する数多くの論文で研究報告をしており、ICDやDSMなどの国際疾病分類にも影響を与えている。



Susan Shur-Fen Gau

国立台湾大学精神医学科教授。2015年まで国立台湾大学病院精神科主任、現遺伝学部門主任。台湾児童青年精神医学会長。国際児童青年精神医学会副会長。主な研究分野は、精神医学、遺伝学と睡眠障害、ADHD、自閉症スペクトラム障害（ASD）に関する薬理学。女性研究者の代表として著名で「Gauママ」の愛称も。



Yeni Kim

韓国・国立精神保健センター児童精神科部長。専門は発達精神薬理学、精神病理学、神経毒性学。環境物質と発達障害の関連での業績が多く、韓国児童精神医学界の若きリーダー。